

**「2.11 日本原基地撤去闘争」に参加！！**

岡山県奈義町で毎年行われている『2.11 日本原基地撤去闘争』に、本部青年部から森川青年部長と佐久間副青年部長の2名が参加しました。陸上自衛隊日本原演習場は、明治41年に住民の反対を押し切って陸軍演習場がつけられ、実弾射撃演習が行われました。以降、東アジアを侵略することを想定した訓練が日米合同で行われています。また、住民の方は今でも実弾が飛び交う中、場内にある自らの土地で農作物を作っています。この闘争は、40年以上前の動労時代から行われており、現在では岡山支部と岡山支部青年部が中心となり、闘争をつくりあげています。

今年も岡山支部、近畿支部、そしてJR総連の仲間であるJR西労、合わせて約60人が結集しました。日本原の現地に向かう途中、バスの車内では青年部が「国防軍創設反対！」や「戦争政策に反対するぞ！」等のシュプレヒコールを行い、武力に反対する意思や気持ちを高めました。現地では時折、吹雪に見舞われ、極寒の中での集会となりましたが、主催者あいさつや現地の方からの情勢報告、現状報告が行われ、集会に結集した労働組合や市民団体、約200人が日本原基地の撤去と平和を誓うことを確認しました。

集会の中で行われる「大声コンテスト」に、佐久間副青年部長が昨年引き続き挑戦しました。中でも、まだ小さな子供が『低空飛行はやめろ！！』と大声で叫んでおり、改めて未来の子供たちを守るためにも私たち自らが行動し、声をあげて行かなければならないと強く感じました。しかし現在、安倍首相は「強い日本を取り戻す」を合言葉に日本を「戦争する国」へと変えようとしています。私たちは今、この日本がどこに向かっているのか？何をしようとしているのか？に目を向け、これからは安心して生きていける社会を実現させるために、青年部からたたかいを押し進めていこう！

集会の中で行われる「大声コンテスト」に、佐久間副青年部長が昨年引き続き挑戦しました。中でも、まだ小さな子供が『低空飛行はやめろ！！』と大声で叫んでおり、改めて未来の子供たちを守るためにも私たち自らが行動し、声をあげて行かなければならないと強く感じました。しかし現在、安倍首相は「強い日本を取り戻す」を合言葉に日本を「戦争する国」へと変えようとしています。私たちは今、この日本がどこに向かっているのか？何をしようとしているのか？に目を向け、これからは安心して生きていける社会を実現させるために、青年部からたたかいを押し進めていこう！

